



2023年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社
コード番号 3271 URL <https://www.the-g.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
四半期報告書提出予定日 2023年5月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3345-6111

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績(2022年7月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	18,441	0.1	552	31.4	65	80.2	65	82.9
2022年6月期第3四半期	18,467	6.9	805		329		382	

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 55百万円 (81.5%) 2022年6月期第3四半期 298百万円 (%)

1株当たり四半期純利益	
	円 銭
2023年6月期第3四半期	2.31
2022年6月期第3四半期	13.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期第3四半期	43,800	3,652	8.3	129.03
2022年6月期	40,372	3,596	8.9	127.08

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 3,652百万円 2022年6月期 3,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		0.00	0.00
2023年6月期		0.00			
2023年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,961	4.7	1,941	148.6	1,065	173.6	838	80.9	29.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期3Q	28,306,000 株	2022年6月期	28,306,000 株
期末自己株式数	2023年6月期3Q	76 株	2022年6月期	76 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期3Q	28,305,924 株	2022年6月期3Q	28,305,924 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年7月1日～2023年3月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限をはじめとする各種規制が徐々に緩和され、イベント等の開催や国内旅行需要の回復に次いでインバウンド需要の急速な持ち直し等、個人消費を中心に、経済・社会活動は回復基調で推移しております。一方で、海外経済やロシア・ウクライナ情勢、物価・原材料価格の高騰や過度な円安による物価上昇、人手不足の長期化が懸念されており、先行きは依然不透明な状況にあり市場変動等に十分な注意が必要です。

当社グループが属する不動産業界におきましては、首都圏の新築分譲マンション市場は、2022年度（2022年4月～2023年3月）の供給戸数が価格の高騰や物価上昇等を要因として絞り込まれたことを背景に3万戸を割る結果となりましたが、平均価格は6,360万円とバブル期（1990年度：6,214万円）を超えて過去最高値となりました。また契約率も住宅取得支援政策や住宅ローンの低金利等により堅調に推移しております（数値：不動産経済研究所調べ）。投資用不動産につきましても、継続する円安や低金利等、海外投資家から見る国内不動産は依然魅力的と捉えられており旺盛な状態が続いております。

このような状況下当社グループでは、首都圏を中心とした分譲及び収益マンションの仕入れ・開発を進めるとともに、第4四半期偏重の引渡しとなりますが、販売についても順調に進捗しております。

ホテル業界におきましては、国内需要の活性化に加え、2022年10月の「入国上限数の撤廃」等の水際対策の緩和により訪日外国人観光客数は増加しており、2023年3月には180万人超とコロナ前の約60%強まで回復し、宿泊施設の稼働率も順調に回復基調で推移しております（数値：観光庁調べ）。当社グループにおきましても、一部ホテルの営業再開及び新規運営を開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高18,441百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益552百万円（前年同四半期比31.4%減）、経常利益65百万円（前年同四半期比80.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益65百万円（前年同四半期比82.9%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、以下のとおりであります。

[分譲マンション事業]

分譲マンション事業におきましては、当第3四半期連結累計期間における引渡実績はありませんでした。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高一百万円（前年同四半期は売上高3,723百万円）、営業損失217百万円（前年同四半期は営業利益410百万円）となりました。

[収益物件事業]

収益物件事業におきましては、「王子Ⅲプロジェクト」、「恵比寿プロジェクト」等、収益物件11物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高13,042百万円（前年同四半期比3.9%減）、営業利益1,931百万円（前年同四半期比26.9%増）となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、グループ会社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部51物件73戸、東京都下5物件7戸、神奈川県7物件95戸、埼玉県1物件1戸、千葉県2物件3戸、合計66物件179戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高415百万円（前年同四半期比0.4%増）、営業利益75百万円（前年同四半期比31.2%増）となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、2023年3月31日現在のマンション管理戸数が3,703戸となります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高351百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益33百万円（前年同四半期比13.2%減）となりました。

[ホテル事業]

ホテル事業におきましては、京都におけるホテル運営及び「浅草花川戸プロジェクト」の引渡しなどを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高4,573百万円（前年同四半期は売上高422百万円）、営業損失535百万円（前年同四半期は営業損失453百万円）となりました。

[その他]

その他としましては、不動産賃貸事業等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高58百万円（前年同四半期比56.5%減）、営業損失3百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ3,427百万円増加し43,800百万円となりました。負債については前連結会計年度末から3,372百万円増加し40,148百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から55百万円増加し3,652百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、物件の仕入により仕掛販売用不動産が3,755百万円増加、物件の引渡により販売用不動産が2,571百万円減少したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、有利子負債が3,045百万円増加したことによるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、利益剰余金が65百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年8月10日に公表しました通期予想と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,963,253	2,276,535
売掛金	32,256	25,861
販売用不動産	17,276,290	14,705,048
仕掛販売用不動産	19,571,082	23,326,672
前払費用	579,155	1,038,979
その他	248,500	1,899,298
流動資産合計	39,670,538	43,272,396
固定資産		
有形固定資産	56,356	62,801
無形固定資産	11,008	9,306
投資その他の資産		
投資有価証券	4,130	4,312
長期貸付金	486,582	320,277
繰延税金資産	56,773	6,863
その他	636,307	488,736
貸倒引当金	△548,714	△364,267
投資その他の資産合計	635,079	455,922
固定資産合計	702,444	528,030
資産合計	40,372,982	43,800,426
負債の部		
流動負債		
買掛金	538,417	545,362
短期借入金	8,988,000	20,007,500
1年内返済予定の長期借入金	2,541,046	7,387,926
1年内償還予定の社債	1,400,000	100,000
未払金	212,856	328,938
未払法人税等	78,003	21,073
未払消費税等	206,304	132,009
前受金	808,302	1,286,281
賞与引当金	8,910	31,800
その他	378,234	205,598
流動負債合計	15,160,074	30,046,490
固定負債		
社債	340,000	1,760,000
長期借入金	21,151,713	8,249,358
繰延税金負債	33,181	23,775
その他	91,034	68,612
固定負債合計	21,615,929	10,101,745
負債合計	36,776,004	40,148,236

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,924,376	1,924,376
資本剰余金	2,870,605	2,870,605
利益剰余金	△1,099,814	△1,034,506
自己株式	△33	△33
株主資本合計	3,695,133	3,760,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	230	412
為替換算調整勘定	△98,384	△108,663
その他の包括利益累計額合計	△98,154	△108,251
純資産合計	3,596,978	3,652,190
負債純資産合計	40,372,982	43,800,426

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	18,467,904	18,441,637
売上原価	15,071,219	15,379,771
売上総利益	3,396,685	3,061,865
販売費及び一般管理費	2,591,540	2,509,440
営業利益	805,144	552,424
営業外収益		
受取利息	11,811	2,276
受取手数料	7,081	4,891
解約精算金	—	4,119
受取地代家賃	5,311	13,274
貸倒引当金戻入額	4,844	54,864
雇用調整助成金	14,518	1,495
その他	18,915	20,337
営業外収益合計	62,483	101,260
営業外費用		
支払利息	398,801	474,147
支払手数料	81,021	93,374
貸倒引当金繰入額	55,845	—
社債発行費	—	19,687
その他	2,786	1,374
営業外費用合計	538,454	588,583
経常利益	329,173	65,102
特別利益		
投資有価証券売却益	64,479	—
固定資産売却益	—	100,000
受取保険金	—	80,539
特別利益合計	64,479	180,539
特別損失		
固定資産除売却損	340	576
役員退職慰労金	—	100,000
特別損失合計	340	100,576
税金等調整前四半期純利益	393,313	145,064
法人税、住民税及び事業税	34,732	39,252
法人税等調整額	△23,652	40,503
法人税等合計	11,079	79,756
四半期純利益	382,233	65,308
親会社株主に帰属する四半期純利益	382,233	65,308

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	382,233	65,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79,604	182
為替換算調整勘定	△3,727	△10,278
その他の包括利益合計	△83,331	△10,096
四半期包括利益	298,902	55,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	298,902	55,211

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響による会計上の見積り)

当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定については、前連結会計年度における有価証券報告書の（追加情報）に記載した内容から重要な変更はありません。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社および国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

	報告セグメント					
	分譲マンション事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	ホテル事業	計
売上高						
一時点で移転される財及びサービス	3,723,595	13,419,401	413,410	—	413,347	17,969,755
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	152,357	—	349,438	8,991	510,787
顧客との契約から生じる収益	3,723,595	13,571,758	413,410	349,438	422,338	18,480,542
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,723,595	13,571,758	265,650	349,438	422,338	18,332,782
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	147,759	—	—	147,759
計	3,723,595	13,571,758	413,410	349,438	422,338	18,480,542
セグメント利益又は損失(△)	410,560	1,521,710	57,492	38,150	△453,916	1,573,997

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	87,915	18,057,670	—	18,057,670
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	41,898	552,685	—	552,685
顧客との契約から生じる収益	129,814	18,610,356	—	18,610,356
その他の収益	5,308	5,308	—	5,308
外部顧客への売上高	135,122	18,467,904	—	18,467,904
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	147,759	△147,759	—
計	135,122	18,615,664	△147,759	18,467,904
セグメント利益又は損失(△)	△11,703	1,562,294	△757,149	805,144

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△757,149千円は、未実現利益の調整額等△6,000千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△751,149千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自2022年7月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

	報告セグメント					
	分譲マンション事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	ホテル事業	計
売上高						
一時点で移転される財及びサービス	—	12,915,498	415,097	—	4,564,737	17,895,333
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	—	126,878	—	351,432	9,197	487,508
顧客との契約から生じる収益	—	13,042,376	415,097	351,432	4,573,935	18,382,841
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	—	13,042,376	415,097	351,432	4,573,935	18,382,841
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	—	13,042,376	415,097	351,432	4,573,935	18,382,841
セグメント利益又は損失(△)	△217,541	1,931,215	75,417	33,131	△535,669	1,286,554

(単位：千円)

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	901	17,896,234	—	17,896,234
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	55,460	542,968	—	542,968
顧客との契約から生じる収益	56,361	18,439,203	—	18,439,203
その他の収益	2,434	2,434	—	2,434
外部顧客への売上高	58,795	18,441,637	—	18,441,637
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	58,795	18,441,637	—	18,441,637
セグメント利益又は損失(△)	△3,659	1,282,894	△730,470	552,424

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△730,470千円は、報告セグメントに配分していない全社費用△730,470千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。